

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団発行
週刊ニュース

2008. 8. 20

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

精神障がい者に他障がい者と同じ施策を

精神障がい者に対する様々な福祉施策は、身体障がい者・知的障がい者に比べてまだまだ遅れています。

日本共産党横浜市議団が横浜市精神障害者家族会連合会(浜家連、石井紀男会長)、横浜市精神障害者地域生活支援連合会(市精連、桜庭孝子代表)、特定非営利活動法人横浜市精神障がい者就労支援事業会(横浜SSJ、菊池綾子代表)と行った予算要望懇談会で、精神障がい者のおかれている現状、要望などが切々と訴えられました。

精神障がい者にも医療費助成制度を

浜家連の重点要望項目は、「重度障がい者医療費助成制度を精神障がい者にも適用してほしい」というものです。これは医療費が無料になる制度で、鎌倉市や藤沢市など県内7市町では精神障がい者にも適用されています。

浜家連の方から、「精神障がい者は長期間服用する強い薬の副作用で内臓の病気の発症が多い。生活がコントロールできないため、歯科にかかる率も高い。3割負担の医療費ではなかなか医者にかかれず、治療が遅れ、重症化する傾向にある」と、たいへんな現状が話されました。



市精連、横浜SSJの方々と懇談する(左から)河治、大貫、中島、白井議員(8. 8、横浜市役所)



浜家連の方々と懇談する(左2人目から)河治、関、大貫、白井議員(7. 23、横浜市役所)

市精連からも同様の要望が出されており、「生活を高齢者の親の年金に依存している障がい者が多い。自立支援法で原則自己責任になり、利用料はじめあらゆるものが1割負担で、積み上げていくと大変な額になる」と、負担が大きいことが話されました。

3障がい一元化といいながら…

身体、知的、精神の3つを3障がいといいますが、精神障がい者団体の方は「3障がい一元化といいながら、精神障がい者の支援が後退したままになっている」と、施策の遅れの早急な改善を訴えています。

精神障がい者に対する施策が他障がいより遅れているものとしては、医療費助成制度のほか、在宅障がい者手当、入院費助成、医師の意見書料などがあります。

大貫団長は、「精神障がい者支援の遅れは問題であり、皆さんの要望をしっかりと受けとめ、実現にむけて力を尽くしたい」と述べました。

日本共産党は、精神障がい者施策の拡充について、予算要望するとともに、議会で再三取り上げてきました。